

### 映画と原作小説について… 「映画も良いけど本も読んで。 本は図書館から借りて。」

たとえば、読みたいと思っていた本が、映画化されていたら、あなたはどのようにするでしょうか。場合によりけりでしょうが、本はコスパが悪いとして、映画を観るのではないのでしょうか。

だけど、ちょっと待ってください。小説を読むことは、作者から読者への、文字を通じての直接的な情報発信ですが、映画は、作者から映画製作者、映画製作者から観客と、あくまでも、間接的なものであるということを、忘れてはいけません。

また映画だと、役者の上手い下手や脚本により、残念な結果になる場合があるし、必ずしも、作者が伝えたかった事が、十分に伝わらない可能性があります。推しの作家さんの作品の場合は特に、「これじゃない感」が大きいように個人的には思います。

そうはいつても、映画は総合芸術。作品を映像・音声という圧倒的な情報量で、テンポよく表現してくれるので、短時間で楽に作品を味わうことができます。小説の面白さは作家の技量によりますが、映画は、その道のプロ集団によるチームプレーなわけで、チーム力で面白い映画を製作し、原作小説以上に大ヒット、続編が何作もという場合も、多く見受けられます。娯楽と言う点では、小説を読むより映画を観る方が勝っているのかもしれない。

と、いうことで、令和8年に映画化、映画化予定の作品を上げますので、借りて、読んで、判断してはいかがでしょうか。



令和8年6月1日  
鶴岡市立図書館  
鶴岡市郷土資料館  
〒997-0036  
鶴岡市家中新町 14-7  
TEL (図)25-2525  
(郷)25-5014  
FAX 25-2526

### 図書館にある「映像化した本」

#### ◎令和8年に映像化

- 『俺たちの箱根駅伝』 池井戸 潤(2024)
- 『未来』 湊 かなえ(2018)
- 『汝、星のごとく』 凧良 ゆう(2022)
- 『木挽町のあだ討ち』 永井 沙耶子 (2023)
- 『ほどなくお別れです』 長月 天音(2018)
- 『クスノキの番人』 東野 圭吾(2020)
- 『ひな菊の人生』 吉本 ばなな(2000)
- 『君のクイズ』 小川 哲(2022)
- 『架空の犬と嘘をつく猫』 寺地 はるな(2017)
- 『すべて真夜中の恋人たち』 川上 未映子(2011)
- 『プロジェクト・ヘイル・メアリー』 アンディ・ウィアー／著 小野田 和子／訳(2021)

#### ◎令和7年に映像化

- 『この夏の星を見る』 辻村 深月(2023)
- 『宝島』 真藤 順文(2018)
- 『悪い夏』 染井 為人(2017)
- 『室町無頼』 垣根 涼介(2016)
- 『サンセット・サンライズ』 楡 周平(2022)
- 『#真相をお話しします』 結城 真一郎(2022)





## 6月の新着案内



リクエスト・予約開始は 6月12日(金) です

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

### ◎小説・エッセイ

- 片見里足立アフェクション (小野寺 史宜)
- 蜃気楼と恋人たち (水庭 れん)
- おりせ人形帖 (由原 かのん)
- #台所のあるところ (原田 ひ香)
- 最後の晚餐 (江國 香織)
- 南朝風姿花伝 (周防 柳)
- ブティック (池井戸 潤)
- ざんどうまの影 (澤村 伊智)
- 輝ける星の下に (橋本 治)
- そうだ、君を憎めばいいんだ (桜庭 一樹)
- 樞の狩人 (大沢 在昌)
- 大江戸フューチャーズ (稲葉 大樹)
- 最後の一行black (市塔 承)
- みんな、好きが下手 (小林 早代子)
- モナリザの裏側 (一色 さゆり)
- あなたが正しくいられたとき (芦沢 央)
- 銀嶺のかなた 3 (安部 龍太郎)
- 処刑館殺人事件 (西式 豊)
- 彼の空のユンカース (柘 サナカ)
- 風林火山のむすめ (木下 昌輝)
- めぐる糸 (永井 紗耶子)
- ラスト・ワルツ (小手鞠 るい)
- 陽の光が消えた町で (ナオミ・クリツァー)



### ◎実用書

- ふたりの読書会 (向井 和美)
- プーチンの歴史認識 (上月 豊久)
- ハンムラビ法典 (中田 一郎)
- 自社の成長を加速させる補助金活用戦略 (船井総合研究所)
- 論文から技術文書まで「AI翻訳」で書く理系英語入門 (森 弘之)
- 最強のコミュカのつくりかた (鈴木 祐)
- 「死んだほうがいい」が問いかけるもの (渡邊 琢)
- 腸元気ごはん (飯島 久佐代)
- 外国人患者のすべて (山田 秀臣)
- 日本のタワー (橋爪 紳也)
- フィジカルAIの衝撃 (田中 道昭)
- 最新ワインの科学 (鈴木 俊二)
- 藤井恵の夏ごはん (藤井 恵)
- ワタナベマキの大人はこんな自炊でいい (ワタナベ マキ)
- はじめてでもできる！DIY自宅リフォーム完全ガイド (山田 芳照)
- 農家が教えるカメムシの防ぎ方 (農文協)
- ゼロからわかる！ネット広告の教科書 (土居 靖典)
- 「私の履歴書」にうっかり出たら、家の掃除をするはめに (一条 ゆかり)
- 和歌と漢詩 (渡辺 秀夫)
- 荻生徂徠全詩 3 (荻生 徂徠)

### ◎児童書

- こちらまほう学校じむ室です(こまつ あやこ)
- どろぼう妖精と見習い魔女 (こまつ あやこ)
- 夏の迷子 (村上 しいこ)
- なんとかなる本 完結編 (令丈 ヒロ子)

### ◎絵本

- 希望を運んだ図書館 (ローレン・H. カースティン)
- なきむしなきこちゃん (ザ・キャビンカンパニー)
- しりとりにきんちゃく (玉田 美知子)
- ティラノがにげた！！ (まつおか たつひで)
- ありのこりーこ (秋山 あゆ子)

### =6月の記念日= 環境の日(6月5日)

1972年6月5日、ストックホルムで「国連人間環境会議」が開催された。これを記念し、国連は「世界環境デー」を制定し、日本では「環境基本法」(1993年)で「環境の日」と定めた。6月の「環境月間」には、全国で様々な取組が行われている(環境省ホームページ)。

#### 図書館にある「環境関連の本」

- ・『あるひくじらがやってきた』  
ニック・ブランド(2022)
- ・『これってホントにエコなの?』  
ジョージナ・ウィルソン＝パウエル  
(2021)

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。  
新刊は、ホームページでもご覧いただけます。

